

新潟県における院内保育・病児保育施設一覧

資料1

【研修指定病院における状況】

研修指定病院数	21		
	あり	なし	% (あり)
院内保育	15	6	71.4%
病児保育	4	17	19.0%
病後児保育	2	19	9.5%

(平成30年度実績)

No	施設名	種別 (研修病院orその他施設)	院内保育			病児保育				病後児保育			
			院内保育 (有or無)	定員	入園待ち (有or無)	医師の利用 (可or不可)	病児保育 (有or無)	予約 (必要or不要)	定員	年間利用 人数	医師の利用 (可or不可)	病後児保 育 (有or無)	医師の利 用 (可or不可)
1	下越病院	研修指定病院	有	35	有	可	有	必要	6	900	可	有	可
2	木戸病院	研修指定病院	有	10	無	可	有	必要	6	200	可	無	-
3	厚生連新潟医療センター病院	研修指定病院	有	25	無	可	無	-	-	-	-	無	-
4	済生会新潟第二病院	研修指定病院	有	30	無	可	有	必要	9	1000	可	無	-
5	新潟市民病院	研修指定病院	無	-	-	-	有	必要	10	1400	可	無	-
6	新潟大学医歯学総合病院	研修指定病院	有	60	無	可	無	-	-	-	-	無	-
7	厚生連長岡中央総合病院	研修指定病院	有	24	無	可	無	-	-	-	-	無	-
8	立川総合病院	研修指定病院	有	30	無	可	無	-	-	-	-	無	-
9	長岡赤十字病院	研修指定病院	有	30	無	可	無	-	-	-	-	無	-
10	厚生連上越総合病院	研修指定病院	有	13	無	可	無	-	-	-	-	無	-
11	新潟県立中央病院	研修指定病院	有	18	無	可	無	-	-	-	-	無	-
12	新潟労災病院	研修指定病院	有	13	無	可	無	-	-	-	-	無	-
13	厚生連柏崎総合医療センター	研修指定病院	有	8	無	可	無	-	-	-	-	有	可
14	新潟県立新発田病院	研修指定病院	有	25	無	可	無	-	-	-	-	無	-
15	新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院	研修指定病院	有	10	無	可	無	-	-	-	-	無	-
16	厚生連佐渡総合病院	研修指定病院	有	24	無	可	無	-	-	-	-	無	-

新潟市における病児保育取組の状況

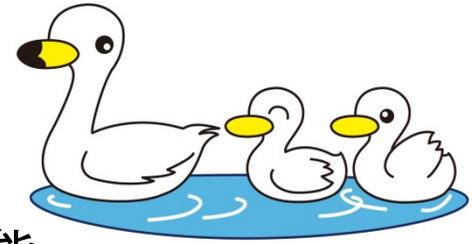
—新潟市病児デイサービスセンター事業—

- 実施施設： 9施設（クリニック併設 4施設、病院併設 5施設）
- 対象： 新潟市内に居住する生後6か月から小学6年生まで
- 利用時間： 月～金 8:00～18:00（土日祝、年末年始休み）
- 利用日数： 原則として連日7日まで
- 利用料： 基本料金 4時間以内 1,000円、4時間超 2,000円
- 事前登録： 一度の登録で市内全施設の利用が可能

病児デイサービス実施施設

病児保育室	定員数	併設医療機関名
ひまわり	6名	ぼくとわたしの小児科
よいこのもり	8名	よい子の小児科さとう
森のおうち	6名	こどもの森クリニック
カンガルー	6名	早川小児科クリニック
きどっこ	6名	木戸病院
たけの子	4名	竹山病院
きしゃぽっぽ	6名	下越病院
さいせいかい	9名	済生会新潟病院
リトルスワン	10名	新潟市民病院

病児保育 リトルスワンのご紹介



- 新潟市民病院 南棟1階に設置、市民の利用が可能
- 利用時間: 月～土 7:00～20:00(日祝、年末年始休み)



保育室



隔離室

看護師 3名
保育士 7名

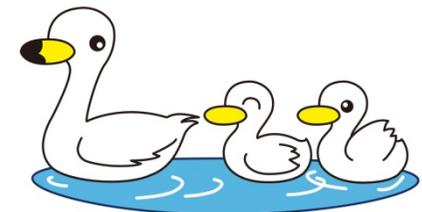
定員 10名
年間利用数
1400名前後

リトルスワンの利用方法

- 利用の際には、あらかじめかかりつけ主治医と相談して医師連絡票を準備し、予約を入れる。
- 市民病院に勤務する医師で当日の業務に大きな支障をきたす場合に限り、救急外来を受診し医師連絡票を記入してもらい、当日朝からの利用を可能にする。
- 午前・午後の2回小児科医師の診察有。

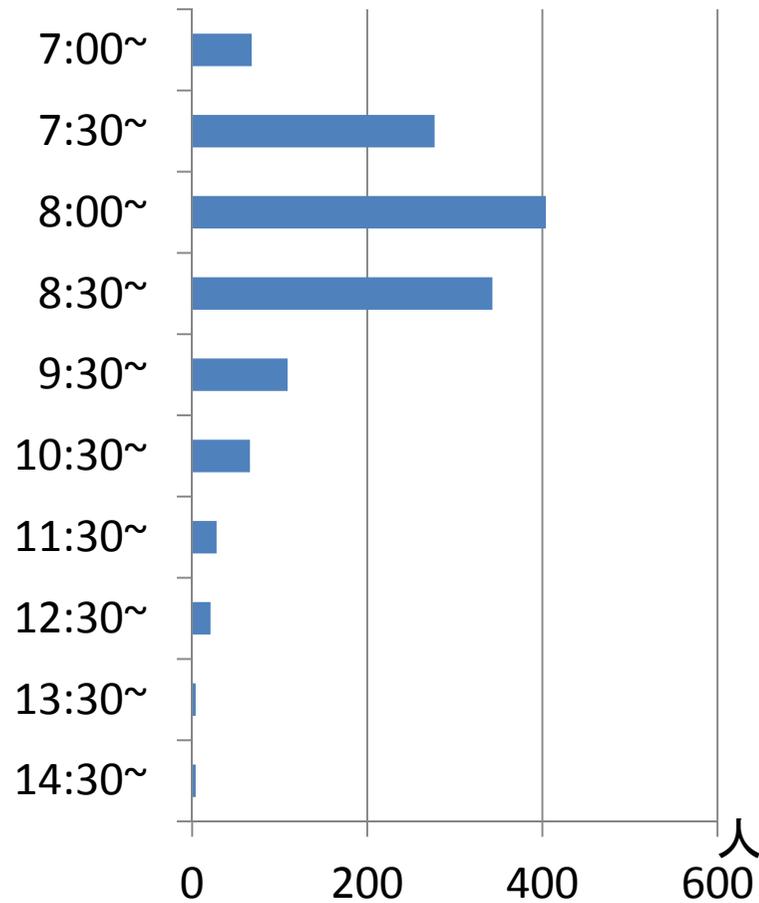


トイレ・シャワールーム

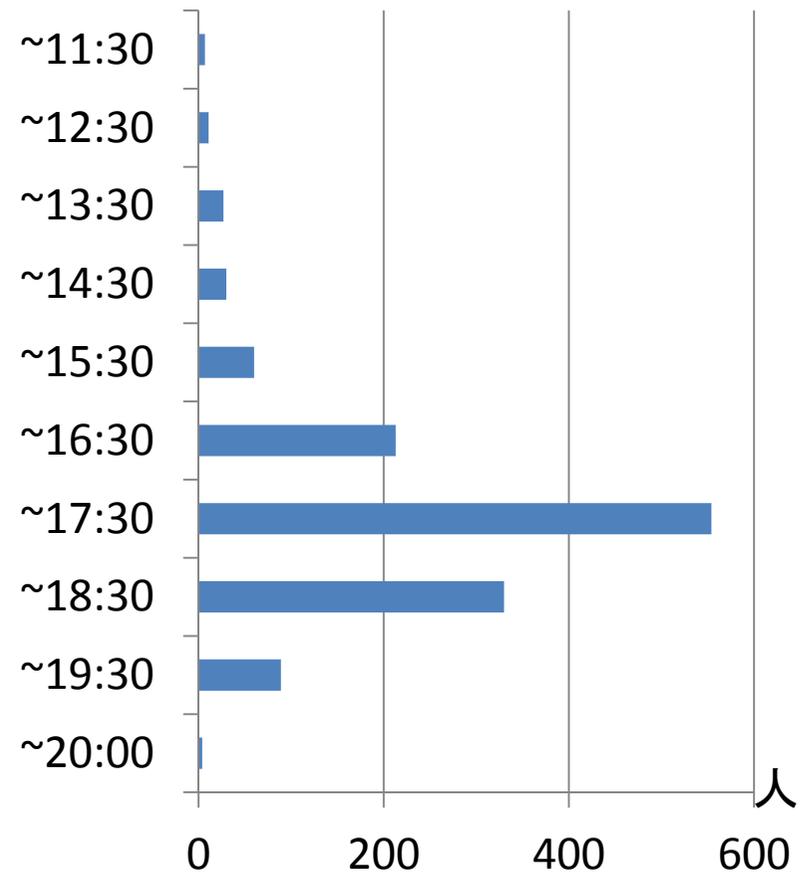


2018年度 リトルスワン利用開始・終了時間

利用開始時間と利用数

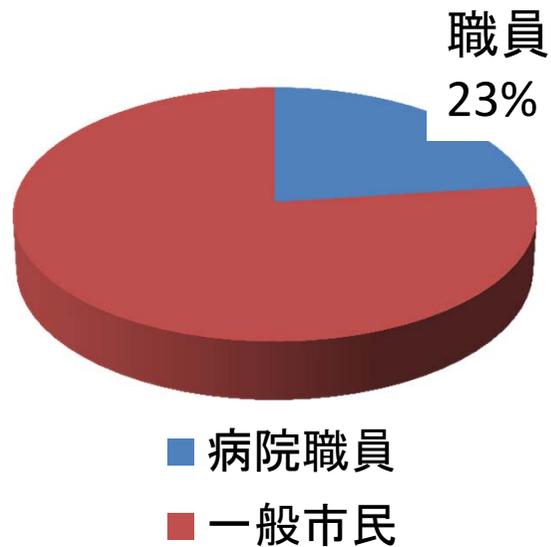


利用終了時間と利用数

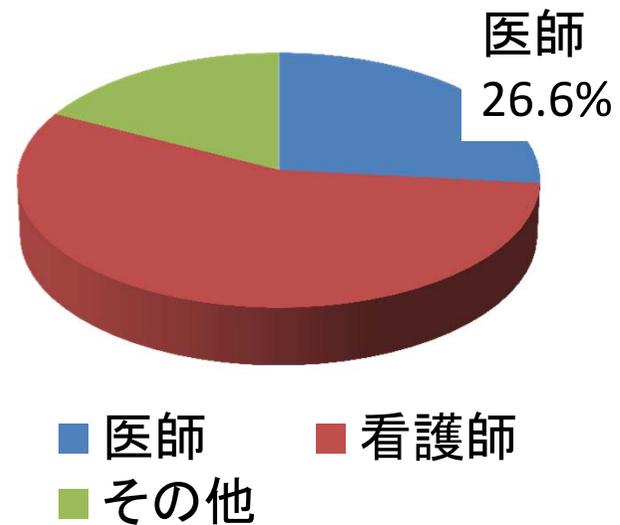


2018年度 リトルスワン 利用者内訳

利用者内訳



病院職員 職種内訳



新潟県医師会の取り組み

—保育サポーターバンク設立に向けて—

- H28年10月 群馬県医師会今泉理事から概要説明・資料提供
- H29年 2月 新潟県病院長会議で黒川典枝先生の講演
「山口県における女性医師支援の活動」
- H29年 6月 女性医師支援事業に関する懇談会で意見交換
- H29年 7月 女性医師の就業等に関するアンケート調査
- H30年 1月 新潟県女性医師支援センター運営委員会に提案
- H30年 4月 新潟県基金事業として採択、県から委託を受ける
- H30年7月 女性医師支援事業に関する懇談会で意見交換
- H30年10月 県福祉保健部医師・看護職員確保対策課と
事業の具体的内容について打ち合わせ
- H31年4月 「女性医師支援センター機能」を県から委託される

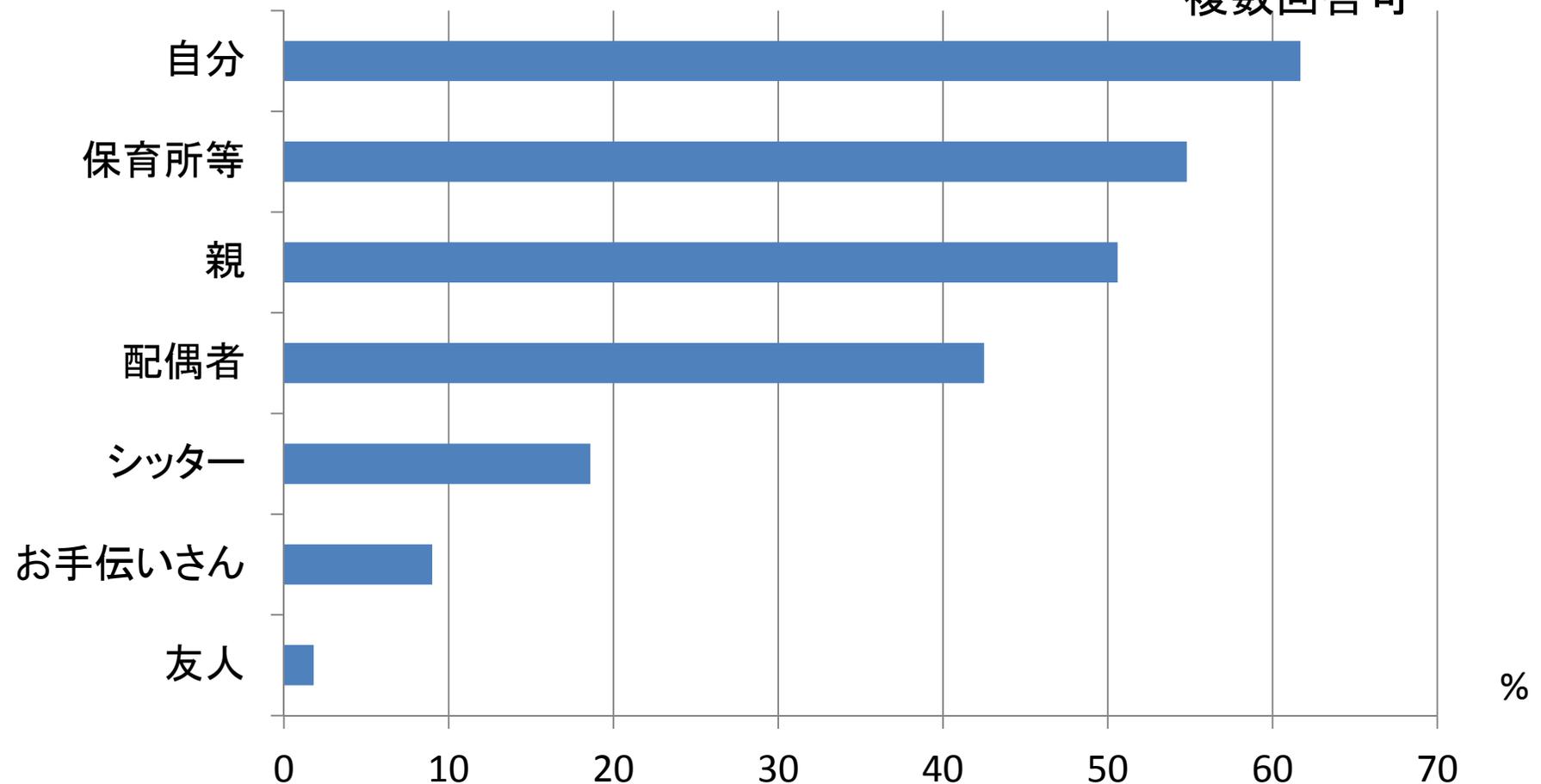
女性医師の就業等に関するアンケート調査

(平成 29年7月～8月実施)

回答数 334名 回答率 43.3% (県女性医師771名)

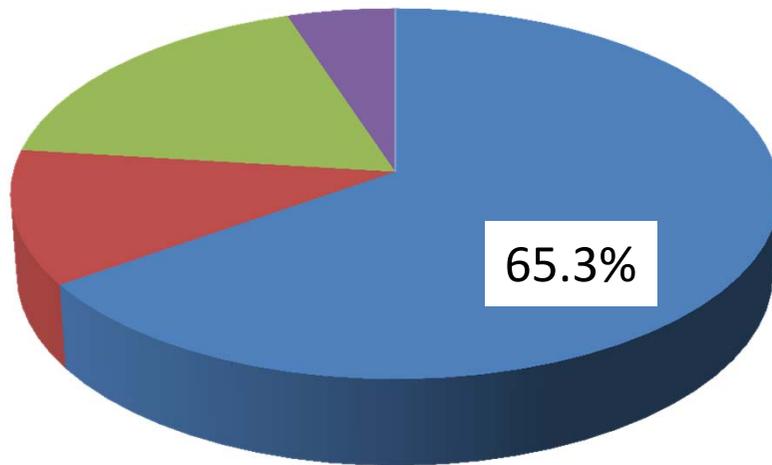
【主な育児担当者・支援者】

複数回答可



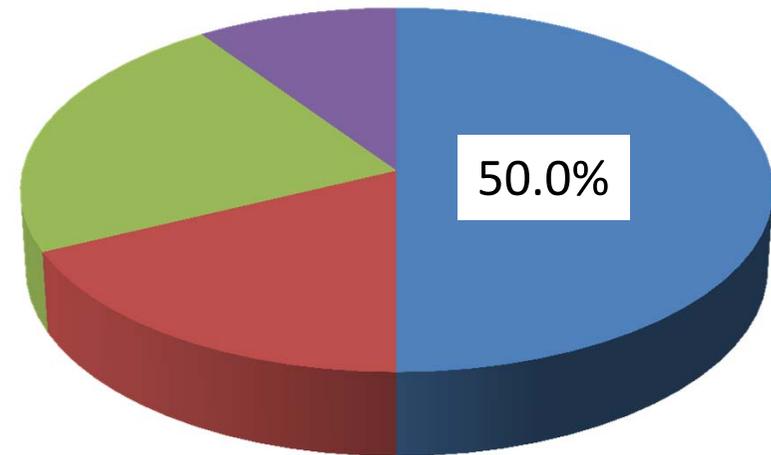
保育サポーターの利用について

利用してみたいか



■ 利用したい ■ 利用したくない
■ わからない ■ 無回答

サポーターを利用することで働き方を見直してみたいか



■ 見直したい ■ 見直さない
■ わからない ■ 無回答

新潟県における女性医師サポート事業の概要

1. 情報収集・提供

H31年2月に県内127病院に保育サービスの状況についてアンケート調査を実施し、91病院から回答を得た。結果をまとめて「子育て世代の医師サポートブック」(仮称)として発刊予定

2. ワンストップ相談窓口の開設と 専任スタッフの配置

3. 民間保育サービスの補完支援検討

緊急時や夜間への対応を業者と調整

4. 保育サポーターバンクの立ち上げ

民間業者では行き届かない女性医師のニーズに合った保育サービスの提供



新潟県医師会 女性勤務医小委員会の活動
—女性医師支援に関する取り組みについて—

新潟県医師会理事 高井和江

2019年度日本医師会女性医師支援センター事業

関東甲信越・東京ブロック会議

2019年5月25日(土) 於:ホテルメルパルク横浜

新潟県医師会 女性勤務医小委員会

設置： 平成27年5月 病院部 勤務医委員会内の小委員会として設置

目的： 女性医師の抱える課題、女性医師支援、男女共同参画等について検討し、県医師会、行政に提言することにより、女性医師が働きやすい環境を整備する。

構成： 委員長 村上地域振興局健康福祉部 部長、保健所長
副委員長 新潟大学医学部保健学科
委員 新潟市医師会 女性理事
委員 新潟大学医歯学総合病院 耳鼻咽喉科講師

県医師会担当役員(4名) 副会長、理事 男性2名、女性1名

女性勤務医小委員会の開催

1. 平成27年5月
議題 ① 女性医師支援イベントについて
② 日本医師会「2020.30実現をめざす地区懇談会」について

2. 平成28年10月
議題 ① 県医師会としての女性医師支援のありかたについて
他県の「保育サポーターバンク」について紹介と提案
② 女性医師支援センター運営協議会の報告

3. 平成29年11月
議題 ① 女性医師の就業と保育に関するアンケート結果について
② 「子育て医師サポーターバンク」の事業化について

4. 平成31年3月 「女性医師のキャリア支援」について座談会開催
新潟大学医師学総合病院内に「女性医師相談支援室(仮称)」
の設置を提案、要望する。

女性医師との懇談会等の開催

1. 平成27年10月 2020.30実現を目指す地区懇談会
 - ① 日本医師会における女性医師支援の状況について
 - ② 女性医師の勤務環境および子育て支援等の現状や要望について
2. 平成28年11月 女性勤務医小委員会による女性医師への取材
女性医師の勤務環境改善に取り組んでいる病院に勤務中の女性医師3名にインタビュー。
3. 平成29年6月 女性医師支援事業に関する懇談会
テーマ： 女性医師の希望する子育て支援の具体策について
現在の保育支援制度、本会が提案する「保育サポーターバンク」について意見交換を行った。
4. 平成30年7月 女性医師支援事業に関する懇談会
テーマ： 女性医師支援事業等について

女性医師支援事業に関する懇談会(H30.7.29)

参加者: 育児中の女性勤務医 8名(大学病院 4名、一般病院 4名)
新潟県医師会 3名(副会長、男性理事、女性理事 各1名)
新潟県医師会 女性勤務医小委員会 委員 4名

(民間のベビーシッターについて)

- ・ 割高だが教育制度が整っており、安心感がある。
- ・ 急な業務の延長や緊急時の呼び出し、夜間の対応はできない。

(病児保育について)

- ・ 急な熱発時なども、当日午前の業務に支障が出ないようなサポートがほしい。

(勤務環境・支援制度について)

- ・ 大学病院では診療科によって支援制度やスタッフの意識が異なる。
- ・ 時短などの制度があっても堂々と、気持ちよく使えないのでは意味がない。

(保育サポーター制度について)

- ・ 民間業者ができない隙間のサポート、女性医師の情報共有の場、出産前後の女性医師は孤独なので相談できる場所として有用ではないか。

2019年度 女性医師支援事業の概要

- ① 総合相談体制の整備
 - ・ 子育て・復職・キャリア形成等のワンストップ相談窓口の開設
- ② 職場理解
 - ・ 病院管理者向け女性医師の勤務環境改善のための講演会の開催
- ③ 子育て支援
 - ・ 子育ての情報発信強化(病院子育て支援情報等の発信等)
 - ・ 子育てサポーターバンクの立ち上げ
 - ・ 民間等と連携した緊急・夜間等における支援の調整・検討 等
- ④ 復職・転職支援
 - ・ 復職・転職情報発信強化
 - ・ 日本医師会女性医師バンクとの連携・活用
- ⑤ キャリア形成支援:新潟大学との連携・共同
 - ・ 医学生キャリアデザイン支援(インターンシップ等)
 - ・ 医学生・研修医等をサポートするための会 開催